

県内総合

建設情報 *Iwate*

引き続き用水路工を推進へ

防災減災の北照井堰 今年度は工事3件の発注

県南広域振興局農政部一関農村整備センターは、一関市、平泉町の北照井堰地区での農村地域防災減災事業による用水路の補修や更新について、引き続き施工を進める計画。22日付で、同局一関審査指導官から、3件の工事が公告された。(関連7面)

北照井堰での事業は、15年度から用水路の補修や更新を進めているもの。全体計画は9416㎡で、総事業費が23億6610万円。事業期間は32年度までとなっている。

施工する堰の内訳は、照井堰480㎡、厳美北堰1136㎡、平泉北堰484㎡、日向堰3561㎡、西風堰3755㎡。補修や改修は、大型ブロック積水路、大型フリュームを実施することで計画している。

それぞれの標準的な断面は、大型ブロック積水路が幅1840㎝×高さ850㎝。大型フリュームは幅1000㎝×高さ800㎝となっている。

現段階で、照井堰、西風堰での施工が完了した。近年は、日向堰での施工を中心に進めている。

22日付で、18号、19号、20号工事の3件が公告された。18、19号は日向堰での施工、20号は、厳美北堰での施工となる。いずれも工期は26年5月29日まで。

維持管理計画の定期点検

大船渡港 申請期限は8月5日

県沿岸広域振興局大船渡審査指導官は22日付で、簡易総合評価落札方式(簡易2型)で実施する「大船渡港山口地区ほか維持管理計画定期点検業務委託」を公告した。同業務では、各種施設の定期点検とともに、維持管理計画の更新を行う。入札参加申請書の提出期限は8月5日正午。入札は18日を予定している。(関連7面)

同業務では、大船渡港の維持管理計画に基づき、外郭施設や係留施設など、各施設の一般定期点検と詳細定期点検を実施。点検結果を基に、既存の維持管理計画の更新を行う。業務の対象地域は大船渡市赤崎町字山口地内ほか。委託

数量を見ると、18号は、施工延長145.36㎡、開渠工129.16㎡、付帯施設工16.2㎡。19号は、施工延長197.79㎡、開渠工174.72㎡、付帯施設工23.07㎡を実施。20号は、施工延長87.85㎡、開渠工81.45㎡、付帯施設工6.4㎡、小型水門掘付工1基を内容とする。

北照井堰の用水路は、一関市厳美町字小河原地内の磐井川に設置されている大穴切頭首工から取水して農業用水を、一関遊水地内の農地など約850㎡へ運ぶ。全体で、1万9219㎡の水路延長となっている。石積みや土水路、柵渠などさまざまな種類、断面の水路が布設されている。

築造から約60年が経過し、水路は老朽化してきている。14年度には、照井土地改良区からの申請もあり、機能診断を実施。診断した結果、補修や更新が必要とされた区間で対処することとした。

既存の老朽した水路のままでは、決壊の恐れもある。決壊となれば、水路周辺の農地や民家、公共施設などに浸水被害を及ぼすとともに、受益農地への用水供給が不能となる。水路決壊の未然防止を図ることで、地域の安全確保、農業減収の防止へつなげる。

期間は182日間を予定している。主な業務対象を見ると、外郭施設では、赤土倉北防波堤や笹崎南護岸、野々田護岸、茶屋前マイナス9.0㎡取付護岸などを点検する。係留施設では茶屋前マイナス6.0㎡岸壁、臨港施設においては永浜・山口幹線1号線などの点検を実施する計画だ。

業務内容は、一般定期点検(目視調査(1):陸上からの踏査)5万1347平方㎡、一般定期点検(目視調査(2):海上からの踏査)4421平方㎡、一般定期点検(電位測定)27カ所、詳細定期点検(潜水調査(1):目視)1970平方㎡、詳細定期点検(コア採取)24試料、詳細定

ニュースのお知らせ

〒020-0015 盛岡市本町通3-9-33
本社編集部へ
TEL(019)623-8201
FAX(019)623-8204

期点検(塩化物含有量試験)24試料、維持管理計画更新一式となった

公共事業4件を詳細審議

県公共事業評価 現場調査は和井内～押角

県公共事業評価専門委員会(武藤由子委員長)はこのほど、盛岡市のエスポワールいわてで25年度第2回委員会を開催した。当日は公共事業4件の詳細審議が行われ、うち国道340号和井内～押角を詳細審議対象地区に選定した。審議に先立ちあいさつに立った武藤委員長は「委員の皆さんから忌たんのない意見をいただき、審議を進めていきたい」と述べ、活発な議論を呼び掛けた。

当日審議が行われたのは▽経営体育成基盤整備事業小猪岡(一関市)▽林道整備事業畑福線(葛巻町)▽地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)一般国道340号和井内～押角(宮古市)▽総合流域防災事業(河川)一級河川北上川水系広瀬川向田(奥州市)の4件。県による概要の説明の後、委員からの質疑が行われた。

要検討(事業継続)に該当する国道340号和井内～押角は、2020年度から着手している事業。一般国道340号は、陸前高田市を起点とし、青森県八戸市に至る路線であり、北上高地を縦断する唯一の幹線道路として、防災や地域間交流の面で極めて重要な役割を担っている。県地域防災計画における第1次緊急輸送道路や重要物流道路の代替・補完路に指定されているほか、14年に廃線となったJR岩泉線の代替路としての役割を果たしている。当該区間は未改良区間であり、1車線の幅員狭小区間や線形不良区間が連続し、車両のすれ違いが困難となっているとともに、落石等の危険があるため安全で円滑な交通の支障となっている。計画延長は1700㎡、幅員は6.0(9.5)㎡で2車線歩道なしを見込む。整備により、幅員狭小区間、線形不良区間が解消され、災害時の緊急輸送道路の機能確保とともに安全で円滑な交通の確保が図られる。

現地精査の結果、事業区間内の構造物等の調査設計等に時間を要したことや工事量の増加により、事業期間を当初予定の28年度から30年度まで延伸するほか、事業費

入札参加資格は、25・28年度建設関連業務競争入札参加資格者名簿の土木関係建設コンサルタント業務に登録され、港湾および空港を申請業務としている者で、岩手県内に本店または営業所を有することなど。

を18億円から28億円に増額などの見直しが行われる。事業に関する社会経済情勢や自然環境等の状況および環境配慮事項などについて、評価指標に大きな変化は見られないものの、費用便益比が一定程度減少したことから、要検討(事業継続)となった。

委員からは「整備効果として、具体的にどのような効果を期待しているのか」「大型ブロック積工

の施工量が増えたとのことだったが、このほかの工法では実行できないのか」といった質問が挙げられ、整備効果については「林業支援や観光支援のほか、緊急輸送路としての活用と地元の効果発揮を期待している」などの回答を行った。

現地調査地区には、B/Cの値が特に低かったことから和井内～押角

が選定された。第3回委員会の現地調査は8月7日を予定している。



第2回県公共事業評価専門委員会

25日に市役所本庁舎 定期調査を入札予定

＝一関市＝

一関市は、竹山町の市役所本庁舎の定期調査を計画。建築基準法に基づき、建築設備などを常時適法な状態に維持するため、検査を実施するもので、25日の入札、開札は29日を予定している。

一関市役所本庁舎は、鉄骨鉄筋

コンクリート造地上5階地下1階で、延べ9204.54平方メートルの床面積。1978～1980年で建設された建物となっている。設備関係は、換気設備13系統、排煙設備1カ所、非常用の照明装置382灯、防火設備24枚。

今回の調査は、建築基準法第12条第3項に基づき実施するもの。換気設備や排煙設備、非常用の照明装置、防火設備が対象となっている。

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える



「山林火災と土砂災害」

岩手大学農学部地域環境科学科准教授

松本 一穂

本欄をはじめ担当いたします、松本です。私は学生時代を岩手大学で過ごした後、日本各地を転々とし、12年間琉球大学に勤務した後、2024年に23年ぶりに母校に戻ってきました。宮沢賢治が「川と銀行、木のみどり、まちはしづかにたそがる」と詠んだ風情を今も残す盛岡の街で、再び研究に取り組むことを嬉しく感じています。私の所属する森林防災工学研究室では、盛岡高等農林学校時代から山地の防災や治水について様々な研究が行われてきました。学問分野としては砂防工学、緑化工学、森林水文学、森林気象学、雪氷学などを対象としています。

着任直後の2024年4月に宮古市で山林火災が発生し、翌年の2月には大船渡市でも大規模な山林火災が発生し、甚大な被害をもたらしました。私はこれまで山林火災に関する研究に携ったことはありませんでしたが、東北では山林火災の発生頻度が高く、その被害も大きいことを実感しました。山林火災は土砂災害に結びつく恐れもあり、当研究室ではそのリスクを定量的に評価し、今後の対策に活かすことを目下の中心課題に据え、現地調査を開始しているところだ。

一般的に、森林土壌は水の浸み込む能力(浸透能)が十分に高いため、林床に到達した降雨のほとんどが土壌中に浸透し、地下水としてゆっくりと流下することで、河川流量の急激な増減が緩やかになります。一方、焼損した土壌は浸透能が著しく低下する

と言われており、強い雨が降ると土壌中に浸み込みきらなかった水が地表面を流れることになり(地表流)。地表流は地下水と比べて流速が速く、降雨後に河川が急激に増水したり、地表面の土砂を侵食したりする(表面侵食)などの影響が出ます。さらに、侵食された土砂が谷底に堆積すると、豪雨時に土石流が発生するリスクも高まります。

日本ではこれまで山林火災による大規模な土砂災害はほとんど報告されていませんが、大船渡の焼損地でも土壌の浸透能が大幅に低下していることが複数の機関による調査で確認されています。また、東北地方では気候変動による大雨の増加も予測されており、土砂災害が今後も起こらないとは言いきれません。

現在大船渡の山林火災跡地では県の土砂災害対策事業が進められているところですが、前例が少なく、対策の内容や規模については試行錯誤の部分も多いと思われます。今後同様の火災が発生した際に適切かつ実効的な対策が講じられるようにするためにも、今回の大船渡の山林火災の影響を多角的に調査し、今後活かしていくことが重要であると考えています。

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

橋梁点検車

橋梁の点検・調査から補修・補強工事まで

株式会社 **オリテック21**

代表取締役 櫻岡賢拓

〒020-0891
紫波郡矢野町流通センター南1-7-20
TEL 019-658-8876
FAX 019-658-8875
https://ort21.com

クリーンセンター花泉有限公司

花泉本社・リサイクルプラザ玉里
〒029-3104 岩手県一関市花泉町日形字日形山2番地1
TEL: 0191-82-5393 FAX: 0191-82-5391

江刺営業所・リサイクルプラザ玉里
〒023-1134 岩手県奥州市江刺玉里柳沢70
TEL: 0197-28-4493 FAX: 0197-28-4435

仙台営業所・石狩営業所
https://www.kurin-hanaizumi.com/ E-mail: kurinhanaizumi@k7.dion.ne.jp

一般廃棄物運搬処分業、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業
浄化槽清掃業、特殊清掃業、一般建設業、土工改良業務、古物商
汚染土壌の無害化処理業(※現場内処理に限る)
リサイクル品: コニ・ソイル(改良土)、流動化処理土、雑草ハエント

リサイクルプラザ玉里 建設発生土リサイクルセンター 残土受入数量 45万㎡

平成30年度 優良下請負企業表彰 受賞

耐震補強工事

ガス圧接 高分子天然ガス圧接 フレア溶接 エンクロース溶接
あと施行アンカー 鉄筋レーダー探査(非破壊検査)
ケミカルアンカー(アンカー引張試験、アンカー超音波検査)
鉄筋加工組立 橋梁補修工事 サンドブラスト(付着試験)
クラック注入 エポキシ注入 グラウト注入 ダイアモンドコア

日本建築あと施工アンカー協会/日本鉄筋継手協会/日本溶接協会 会員

IKKI 株式会社 一騎工業

本社/岩手県奥州市江刺稲瀬字三丁198
TEL 0197-35-6045 FAX 0197-35-6046
営業所/盛岡・秋田・仙台・山形・北上工場

株式会社 佐藤興産

自然に優しい環境づくりを思考する

SATO KOUSAN

産業廃棄物の見積・契約・搬入予約等
産業廃棄物に関するご相談はこちらまで

環境部7-ダイヤル **0120-310-202**

リサイクル処理品目
石膏ボード、木材、プラスチック、畳、ガラス陶磁器くず、コンクリート、繊維くず、アスファルト、鉄くず、紙くず、伐根材等

〒020-0403 岩手県盛岡市乙部5-320-1
TEL: 019-656-1188 / FAX: 019-656-1189

URL: www.sato-im.com

(一社)日本塗装工業組合会員 岩手県塗装工業組合会員

建築・橋梁塗装・各種吹付・各種防水工事・樹脂注入

各種塗装工事/各種防水工事/断熱工事 請負

- 金属焼付塗装全般
- 木工塗装
- FRP塗装

取扱商品

特殊セラミック塗材 **ガイナ塗膜**(株)日進産業

- 省エネ効果…断熱・遮熱・耐久
- 快適空間…防音・防露・消臭・透湿・防菌・防護・安全・癒し
- 機能性…防汚・弾性・不燃・簡単施工

環境対応型光触媒塗料 **エヌティオ**(日本特殊塗料(株))

有限会社 吉田塗装工業

盛岡市川目町23番5号(盛岡市中央工業団地)
☎ 019-624-4390(代表) FAX 019-654-5398
E-mail y-paint@ia8.itkeeper.ne.jp